



7月の採用薬品（常備薬品）

メコバラミン注射液500μg「トーワ」

補酵素型メチルB12製剤

東和薬品

【効・用】末梢性神経障害の場合：
通常、成人は1日1回1アンプル（メコバラミンとして500μg）を週3回、
筋肉内又は静脈内に注射する。ただし、年齢及び症状により適宜増減する。

巨赤芽球性貧血の場合：
通常、成人は1日1回1アンプル（メコバラミンとして500μg）を週3回、
筋肉内又は静脈内に注射する。約2ヵ月投与した後、維持療法として1～
3ヵ月に1回1アンプルを投与する。

【副】添付文書参照



7月の採用薬品（院外処方専用薬品）

ヘパリン類似物質外用スプレー0.3%「日医工」

血行促進・皮膚保湿剤

日医工

【効】皮脂欠乏症，進行性指掌角皮症，凍瘡，肥厚性瘢痕・
ケロイドの治療と予防，血行障害に基づく疼痛と
炎症性疾患（注射後の硬結並びに疼痛），血栓性静脈炎（痔核を含む），
外傷（打撲，捻挫，挫傷）後の腫脹・血腫・腱鞘炎・筋肉痛・関節炎，
筋性斜頸（乳児期）

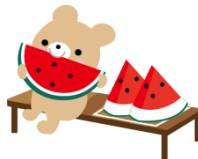
【用】通常，1日1～数回適量を患部に噴霧する。

【副】添付文書参照



採用区分変更薬品（院内常備薬品→院外専用薬品）

メバロチン錠10、ダイアート錠60mg、エバステル錠10mg、
グルコバイ錠100mg、ボグリボースOD錠0.3mg「トーワ」



後発医薬品への変更（なくなり次第順次変更となります）

変更前	変更後
ユーパスタコーワ軟膏	→ ネグミンシュガー軟膏
グラマリール錠25mg	→ チアプリド錠25mg「テバ」
ドグマチール錠50mg	→ スルピリド錠50mg「サワイ」
セフゾンカプセル100mg	→ セフジニルカプセル100mg「TYK」
ラミシール錠125mg	→ テルビナフィン錠125mg「ファイザー」
アドナ錠30mg	→ カバヅカムルン酸Na錠30mg「トーワ」
ガスコン錠40mg	→ ガスサル錠40mg
シンメトレル錠50mg	→ アマンタジン錠50mg「杏林」
ケフラールカプセル250mg	→ セファクロルカプセル250mg「サワイ」
バクタ配合錠	→ ダイフェン配合錠

☆☆読み方が難しい皮膚にまつわる病名 其の1☆☆

（参照：スキルアップのための皮膚外用剤Q&A）

癬（せつ） 毛穴からの菌の侵入により壊死性変化の強い化膿性炎症を生じたもの。化膿球菌による毛包性膿皮症。

癰（よう） 隣接する癬が集合性に生じた状態。癬よりも病変は深部に及び発赤、腫脹、硬結、疼痛などの症状も一般に強い場合が多い。

疣贅（ゆうぜい） 一般に「いぼ」と呼ばれているもの。ヒト乳頭腫ウイルスの感染による。

鶏眼（けいがん） 一般に「うおのめ」と呼ばれているもの。

胼胝腫（べんちじゆ） 一般に「たこ」と呼ばれているもの。

